



わたげ探偵!!あなたの調べてみました!

~ 多摩地域に伝わるものづくり ~

◎不定期掲載

今回は、多摩地域に古くから伝わるものづくりについて調べてみたよ。「地酒の蔵元」や、経済産業大臣の指定を受けた「伝統工芸品」など時代を超えて受け継がれているものをいろいろ見つけたよ。



日本酒



現在、東京都には9つの蔵元があり、そのうち8つが多摩地域にあるんだよ。江戸時代から続く蔵元も多く、最も歴史のある蔵元は1596年創業(豊島屋酒造(株))なんだって。

蔵見学(要予約)が出来る所も多いので、ぜひ訪ねてみてね。



野崎酒造(株)「喜正」



小澤酒造(株)「澤乃井」



豊島屋酒造(株)「金婚」

中村酒造「千代鶴」



田村酒造場「嘉泉」



石川酒造(株)「多満自慢」



(有)小澤酒造場「桑乃都」



合名会社 野口酒造店「國府鶴」



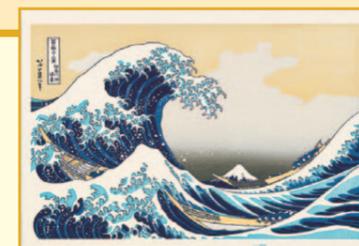
むらやまおしまつむぎ 村山大島紬

精巧な緋模様(かすりもよう)が特徴の紬織だよ。全て手作業で作られていて、先染めした緋系(かすりと たていと よこいと)を一本一本柄を合わせながら織っているんだって。緋系の染色に「板締め注入染色法」という独特の技術が用いられているのも大きな特徴なんだ。着物はもちろん、ペンケース、財布等の小物製品も作られているよ。



えどもくはんが 江戸木版画

浮世絵版画に代表される江戸木版画の技術・技法は現在に継承されているんだよ。彫師・摺師と呼ばれる職人さんが、昔と変わらぬ手法で歌川広重や葛飾北斎の浮世絵復刻版版画などを制作しているんだって。



たまおり 多摩織

かつて「桑の都」と呼ばれた八王子では古くから様々な絹織物が織られてきたんだよ。多摩織というのは、お召織、紬織、風通織、変り綴れ織、緞り織の5つの織物の総称なんだ。

和装製品だけでなく、ネクタイ・ストールなどの洋装製品も作られているよ。

